

建築部門

建築物のうち、安全・安心・魅力あるまちづくりに寄与したものを顕彰します。

西宮市貝類館・西宮浜公民館（西宮市）



海辺のまちにマッチした博物館

- 日本貝類学会の創設者、故黒田徳米博士が収集した世界有数の貝類標本等を中心に、堀江謙一氏から寄贈されたヨット「マーメイド4世」を展示する博物館である。
- ヨットの帆を連想させるデザインで、海辺のまちにふさわしい景観を生み出している。また、公民館を併設し、新しい地域のコミュニティ活動の拠点となっている。

東山温泉メイプルプラザ（波賀町）



交流を育む「しそ森林王国」の拠点施設

- 「しそ森林王国の拠点エリア」として、波賀町が整備した温泉保養施設である。大自然とふれあう森づくりの拠点であり、都市との交流の進展が期待できる。
- 山並みになじむ、白を基調とした落ち着いたデザインである。シティホテルなみのサービスを提供することが可能である。

神戸キメックセンタービル（神戸市中央区）



オープンスペースのある企業誘致の拠点施設

- ポートアイランドへの企業誘致を進めるための拠点施設である。
- 2層吹き抜けのパブリックコートやオブジェ、植栽を配し、オープンスペースを創出している。また、制震装置を備えるほか、自家発電等バックアップ機能を確保している。

中町健康福祉センター“アスパル”（中町）



開かれた交流の場となる健康福祉施設

- 地元委員会の策定した基本構想を受けたプロポーザルにより設計者が選定されるなど、住民参加プロセスを経て建設された健康福祉施設である。
- 開かれた交流の場という基本理念を生かすため、オープンでフェンス等が無く、河川敷公園との一体的な利用が可能などの工夫が施されている。

今田町商工会館（篠山市）



立杭焼の里にふさわしい和風建築物

- 町の自然環境にあった木造建築で、事務所に研修棟を併設している。立杭焼の里として知られた今田の町にふさわしい和風の設計となっている。
- 研修棟は100名収容可能。地域イベント等に開放される。商品展示棟も整備され、ギャラリー機能も有する。案内板などに丹波立杭焼が使われているのも特徴。

櫻正宗（株）櫻宴（さくらえん）（神戸市東灘区）



酒蔵のまち再建のシンボル

- 大震災以降、魚崎郷に多くの集合住宅が建てられ、昔ながらの町並みが変わっているが、そのなかで酒蔵の町再建に向けて取り組み、レストラン等を整備した。
- 門の修復や黒塀の再生など、昔ながらのまちなみに配慮している。観光人口増加に向けた取り組みの拠点としての役割も果たしている。

龍野市総合文化会館（赤とんぼ文化ホール）（龍野市）



やすらぎあふれる空間を生み出す文化施設

- 緩やかな曲線を描く屋根、ホワイエの傾いたガラスの壁、アプローチプロムナードなど周辺の山並みを生かしたデザインである。
- 既存建物の水のコリドールと対して、芝生の庭を挟んでアプローチテラスを配することにより、揖保川河川敷との一体化を図っている。

洲本市立図書館（洲本市）



古い工場のレンガを生かした図書館

- 旧カネボウ洲本工場広場北側に立地し、市民公園とマッチしている。レンガ塀や鷹突を修景にとりこみ、パティオに古いレンガを敷くなど工夫した図書館である。
- 柔らかな色調に統一し、自動車をシャットアウトするなど、くつろげる空間づくりに意を用いている。自然採光が巧みに取り入れられている。

マリンピア神戸体験学習施設（さかなの学校）（神戸市垂水区）



漁業が学べる拠点施設

- 地元の産業である漁業を、広く市民の方々に知っていただくための拠点として、また、活気のあるまちづくりの拠点として整備された体験学習施設である。
- 屋根は海をイメージしたデザイン。外壁には間伐材の丸太を利用し、暖かみのある外観となっている。

武家屋敷資料館（龍野市）



城下町龍野を伝える資料館

- 龍野は城下町として知られているが、武家屋敷の様子を具体的に知ることのできる施設がこれまでなかったため、市が、比較的保存状態の良い武家屋敷を購入し、保存するとともに、資料館として公開した施設である。
- 目に見えない形で耐震補強を行い、歴史的街並みの保存に意を用いている。

